

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	南九州市茶業振興会
役職	
氏名	窪 拓摩
着任日	令和3年2月1日

活動月	令和6年4月(着任3年3ヶ月)
主な活動	1. 茶業最盛期！生産と流通両刀での知覧茶ブランディング 2. 新茶オンラインイベント『新茶お披露目会』の企画調整 3. 博多での新茶PR / 高校生との知覧茶ブランディング / 新茶贈呈式 4. 協力隊報告会への参加

1. 茶業最盛期！生産と流通両刀での知覧茶ブランディング



写真: 早朝 品評会用茶園に集合する摘採班

毎年のことながら、新年度がスタートする4月は、＝新茶最盛期を迎える茶業課(茶業振興会)の繁忙期でもあります。当初の協力隊着任時の業務内容(テーマ)からは外れていますが、今年も品評会用の茶生産現場に従事しました。毎日の天候を読みながら、早朝対象茶園に集合し、打ち合わせの後、摘採(茶摘み)がスタートします。

地域おこし協力隊活動報告書

今回、生産でのサポートとして多くの対象茶園での摘採業務、そして摘まれた生葉を、茶工場班と情報共有をしながら、茶工場まで迅速に届ける運搬業務に携わりました。おそらく、現在全国に6,000名以上いらっしゃる協力隊の中でも、全国大会や県大会の結果を決める品評会の摘採業務など、重役を任されて貴重な体験ができる隊員は、そうそういらっしゃるのではないかと考えます。



写真: 摘採された生葉を製造する茶工場班

また、生産現場での作業従事と連動し、この時期にしかお伝えすることができない知覧茶 新茶の現場を、全国のフォロワーを中心に、SNSでリアルタイムに発信することを注力した月でもありました。

「新茶」というワードはこの時期よく聞くけれども、果たしてどのような工程で新茶が作られているのか、また新茶で摘まれた葉や芽は、どの時期に、どのような生育を経ているのかなどを、SNSを通じ身近に感じてもらえたのではないかと思います。

DMやコメントなどで温かい応援のお声を多くいただき、非常に心身の支えになったところでもありました。

SNSの活用が、茶消費に果たしてどれほどの効果を生んでいるのかは、非常に直接的な数字を追うことが難しいのも事実ではありますが、「魅力ある知覧茶」を発信し、全国各地、時には海外にご在住の方々と繋がることの重要性を非常に感じております。

2. 新茶オンラインイベント『新茶お披露目会』の最終企画調整



写真: SNSでの新茶お披露目会ご案内POP

本年度で4回目の開催となります、新茶オンラインイベントの最終企画調整を、先述の品評会作業と同時進行にて実施いたしました。

全国の茶産地でも、新茶シーズンがいち早く始まる本市において、一般の方々はもちろんのこと、茶関係者も多くこのイベントに注目をしており、事前のアンケートにご回答いただくと、新茶の一煎パックや急須をお持ちでない方もリーフ茶を楽しむことができるドリップ式知覧茶をプレゼントしました。

本年も、数百名にもものぼるご回答をいただき、ほぼ全都道府県に向け、知覧新茶体験セットを郵送手配させていただいており、よきPRになっているかと思えます。

イベントの詳細につきましては、次月改めてご報告いたします。

3. 博多での新茶PR / 高校生との知覧茶ブランディング / 新茶贈呈式

地域おこし協力隊活動報告書



写真：九州深発見イベント会場にて(大丸博多天神様)

当月は、イベント実施、イベント企画の打ち合わせなど、本当にボリュームのある月でした。上旬には、イベント前日に袋詰めが終わったばかりの「知覧新茶」100本を両手にぶら下げ鹿児島から福岡へ移動し、大丸博多天神様にて開催の九州深発見イベントにてPR販売を実施いたしました。

イベントに足を運ばれた方々の多くから、「これ、本当に新茶？」「早すぎない？」といったお声をいただきながら、実際にできたばかりの新茶を飲んでいただきました。新茶らしい爽やかな香りと深蒸しの綺麗な水色、深い味わいに購入をされるかたが多く、無事会場に持ってきた100本全て完売という嬉しい結果に結びつきました。

通常、福岡で知覧茶や八女茶が店頭販売されるのはGW前後ということもあり、一ヶ月弱早くお披露目ができ、来年度以降も新茶PRを継続していきたいと強く感じています。

地域おこし協力隊活動報告書

写真・南九州市茶業振興会



新茶の振る舞いとほうじ茶風焙煎体験

『知覧茶』新茶まつり

2024年5月3日(金)～5日(日)
白水庭(申庭)にて16時～18時まで開催

1日200個限定で鹿児島県の郷土菓子「からん団子」の無料提供もございます！
ご家族やご友人、大切な方と是非お越しください。ご茶場をお待ちしております。
※無くなり次第お菓子の提供は終了させていただきます。予めご了承ください。

.....ほうじ茶風焙煎体験開催!.....

焙烙(ほうろく)を用いて、知覧茶を焙煎しながら、遠回り～深回りの
お好きな香り具合でほうじ茶をつくっていきます。ご自身でつくられた
ほうじ茶はその場で淹れたいだけのことでも、限定数量までございますが
「CHIRAN TEA プチ缶」に入れてお持ち帰りいただく事もできます。
※プチ缶の在庫が尽きた場合でもこちらでお茶をどうぞ頂いております。

南九州市茶業振興会主催

.....わらび餅作り体験も同時開催!.....

今日、新茶を使ったわらび餅作り体験を開催していただく
あつぎ亭様は鹿児島県産の絹絡粉で漬物のブランドとして
躍進しました。漬物に加え、「酸かしい」と「今の生活に
な馴染む」をコンセプトに旨みの濃さが少ないながらも楽しく
食べられるようなものをお届けします。

株式会社ササス

期間中、おもてなしに指宿商業高校の生徒さん「指宿商業高校ICP(指宿茶いっぺプロジェクト)」も参加します!

主催 南九州市茶業振興会×株式会社ササス

写真: 指宿白水館様

0993-23-3898

指宿白水館

知覧新茶を祝う、武家屋敷の市

茶と○

CHIRAN
Tea & Others
Marché

知覧

2024
5月17日(金) - 19日(日)
10:00 - 18:00

鹿児島県南九州市知覧町
知覧武家屋敷庭園群内

入場無料

arts and crafts

知覧の麓に、アートとクラフト集マルシェ。

詳しくは
@cha.10.marche

写真:(左)指宿白水館様イベント案内書 / (右)茶と○イベント案内書

こちら、水面下で進めております5月実施のイベント開催に向けた打ち合わせやSNSでのPR発信を実施しております。

指宿白水館様での「知覧茶」新茶まつりでは、指宿商業高校のICP(茶いっぺプロジェクト)メンバーと、知覧武家屋敷での茶と○では、薩南工業高校の茶ボラメンバーと、それぞれ知覧新茶をふるまう取り組みを予定しており、現場での企画打ち合わせから実施までの調整業務に奔走しております。

詳細は、開催月となります次月の報告書にていたします。



写真:新茶贈呈式の様子(指宿シーサイドホテル様にて)

地域おこし協力隊活動報告書

当月下旬には、お隣の指宿市にて新茶贈呈式を開催いたしました。今回は、顛娃町でできた知覧新茶の贈呈をおこないまして、5月には知覧町の新茶を贈呈する式を計画しております。県内外から多くの観光客が来られる指宿市の旅館・ホテルでの知覧茶 新茶の提供は、ブランディングにおいて非常に重要な役割をされていると感じております。

4. 協力隊報告会への参加



写真:(上)原本さんの卒業報告会 / (下)枕崎市活動報告会

当市で同時期に協力隊に着信をした原本さんの卒業報告会と、お隣の枕崎市で協力隊をしております方々の活動報告会にそれぞれ出席してまいりました。両報告会会場には、鹿児島県内の現役協力隊やOB/OG、行政職員や議員、関係企業のご担当、メディア関係者など多方面から数十名の参加があり、南薩エリアとして注目をされているのを肌で感じられました。報告会では、協力隊同士にしか理解できない悩み、苦悩、達成感などを活動内容とともに話しいただき、非常に共感をしたところです。

現在は、全国各地で6,000名を超える地域おこし協力隊が活動をされており、今後も活動人数は増えていく予想を総務省が報告しております。地域おこし協力隊はソトから来た「お客様」では決してないですが、ただの「人手不足の補強」でも決してありません。着任する協力隊、採用自治体どちらか一方が我慢を強いられる取組ではなく、双方が責任と実務を負いながら前に進んでいくエリアこそが、今後「魅力ある協力隊/市町村」として生き残っていくのではないのでしょうか。以上簡単ではございますが、当月の報告といたします。